

第2回 SSTV ALL JA コンテスト

主催：西日本コンテストクラブ

期間：2009年6月17日(水)0900 ～ 21日(日)2100 (JST) (108時間)

資格：国内のアマ局

モード：以下の2モード

① アナログモード(MMSSTV 等)

② デジタルモード(EasyPAL HAMPAL 等)

周波数：3.5～28MHz帯 (7Band)

3.5MHz帯----3528KHZ 3531KHZ 3708KHZ 3711KHZ

7MHz帯----7033KHZ 7082KHZ 7085KHZ 7088KHZ

14MHz帯----14230±3KHZ ステップ

18MHz帯----18140±3KHZ ステップ

21MHz帯----21340±3KHZ ステップ

24MHz帯----24960±3KHZ ステップ

28MHz帯----28600±3KHZ ステップ

(注意-1)：上記の各周波数で運用の際は その周波数が空いている事を
事前に充分確認した後に使用すること

(注意-2)：使用電力及びモード等は自局の免許の範囲内であること

(注意-3)：7MHz帯及び3.5MHz帯でのQSOの効率を上げる為に
7033KHZ及び3528KHZは「第1呼び出し周波数」とし
多くの局のオンエアーでバンドが混みあつて来た時には
速やかに次の「第2呼び出し周波数」を活用しQSOの効率
向上に努力すること

「第2呼び出し周波数」は以下とする

3.5MHz帯----3531KHZ 3708KHZ 3711KHZ

7MHz帯-----7082KHZ 7085KHZ 7088KHZ

(注意-4)：今般7MHzバンド拡張に伴い SSTV用として7130KHZが指定
されましたので 7130±3KHZステップでのQSOも有効とします

交信方法：呼び出し：「CQ SSTV ALL JA TEST」

コンテストナンバー：RSV+JARL制定都府県支庁ナンバー

又 画像はオリジナルなものであれば何でも良い

部門：シングルOPマルチバンド部門のみとする

得点：異なった局との同一バンド同一モードの1交信につき次ぎの得点とする

① アナログモードでの交信は1点

② デジタルモードでの交信は2点

又 同一局でもモードが異なれば同一バンドでの交信を有効とし上記の
の各得点を認める。又 バンドが異なればモード別に上記得点を認める

ただし同一バンド同一モードでの重複交信及びクロスモード交信及びクロスバンド交信は無効とし得点を認めない。

従って (7Band×2モード)で 局当たり 14 回の QSO が可能 よって E スポによるバンド状況を的確に把握し効率良く QSO されて下さい。

マルチ：JARL 制定都府県支庁数で 同一バンドでは初めの 1 交信をマルチとし 以後 モードが異なっても マルチとしない。又 バンドが異なれば同一都府県支庁であってもマルチとして認める。

従って 1 バンド当たり最大 60 個

総得点：各バンドで得た (交信得点の和) × (マルチの和)

書類提出：JARL 制定サマリーシート・ログシート、又はこれに準じる形式のものとし、所定の事項を記入し提出。サイズは A 4 のみとする。

又 電子メールによる提出も可 その場合はテキスト形式のログ及び テキスト形式のサマリーを下記アドレスに送付の事

又 JARL Web の電子ログ様式を活用の場合は 50MHZ の欄に 18MHZ をまた 144MHZ の欄に 24MHZ の QSO 結果を記入下さい。

サマリー用紙記入用の参加部門の種目・コードナンバー

コードナンバー	種目
SOPSTV	SSTV シングルオペ・マルチバンド

E-Mail：wjtest2@yahoo.co.jp

締め切り：2009 年 7 月 31 日 (消印有効)

提出先：〒882-0865 宮崎県 延岡市 鶴ヶ丘 1 丁目 12-24
山 本 四 郎

結果発表：1 位から 3 位まで表彰

その他：順位確認希望者は サマリーに電子メールアドレスを記入の事
(後日 E-mail にて結果送付) 又 次ぎの場合は失格とする

①電波法令に違反した運用が明らかに認められた場合

②提出書類の不備・虚偽記載が認められた場合

③重複局が全体の 2 % を越えた事が判明した時は失格とする。

以 上